

## 平成26年度 糸魚川市道徳部 活動報告

部長 町田 庄司

### 1 研究主題

「心に響く道徳授業づくり」

### 2 研究の概要

市道徳部員は、12名（他に中学校、特別支援学校教員が5名）であり、各学校1名程度で構成している。

本テーマでの研究は、「道徳」の特別な教科化を見据えたものであり、配付された『私たちの道徳』をどう効果的に活用するか実践研究を実施した。

また、道徳教育の要としての道徳は、適切に実施することができる能力を備えることが求められていることから、その「適切さ」を探究し続ける姿勢として役割演技という指導方法に注目して取り組んだ。

### 3 研究の実際

#### (1) 『私たちの道徳』の効果的活用についての個人研究

『私たちの道徳』を活用した道徳の授業や特別活動の実践を2～3積み、成果や課題を明確にした。

#### (2) 研修会での実践交流

1学期に取り組んだ授業実践から、『私たちの道徳』を導入した意図、導入した場面、考察を中心に報告し合った。読み物教材は採用しやすいという報告が多く、しかし、2ヶ年使用することや書き込みページの扱い等まだ課題であることも分かった。『心のノート』の活用についても学校差や学級差があり、『私たちの道徳』においては年間指導計画への位置づけ等学校全体での共通理解がまず必要であるという報告が多数を占めた。

#### (3) 研修会での指導

上越教育大学教職大学院 早川教授からは、『私たちの道徳』活用を含めた道徳教育の今後の方向と役割演技による道徳授業をウォーミングアップを中心に御指導いただいた。

#### 即興的な役割演技の監督の役割

ウォーミングアップには、学習の仕方を理解し、よい観客を創るものと、一時間一時間の中で、演者を創っていくものとの2種類があり両方が大切である。

#### 道徳の時間以外の「私たちの道徳」の活用

生活科、外国語活動、総合的な学習の時間の動機付けや生き方を考える際に、文化的行事の事前指導として等活用の機会が多い。道徳教育の全体計画や年間指導計画に位置付けることが重要。

#### (4) 『私たちの道徳』の効果的活用についての個人研究②

実践の交流や指導を受け、2、3学期の道徳の授業に取り組んでいる。また、所属校の道徳に反映できるよう校内研修会等を開催している学校もある。

### 4 成果と課題

実践をレポートにすることにより、取組の成果や課題が鮮明になる。それが次の取組へとつながっている。また、実践報告として交流することや指導者からの演習を基本にした研修会を開催することは、明日の授業に直結するものと信ずる。